

明治庚午初冬刊行 中邨正直譯

SELF HELP
BY
SAMUEL SMILES
(TRANSLATED)
BY K. NAKAMURA.

改正

西國立志編

英國斯邁爾斯著

原名自助論

一千八百六十七年倫敦出版

板權
免許

明治十年二月

木平讓藏板

Professor Kakamura
with H. W. Frelaut
kind regards.

戊辰四月余去倫敦時
弗理蘭德君以此書原
本見贈卷首題此三行
乃其手書也今模寫付
刻俾子孫永莫忘其所
自云

中邨正直識

序

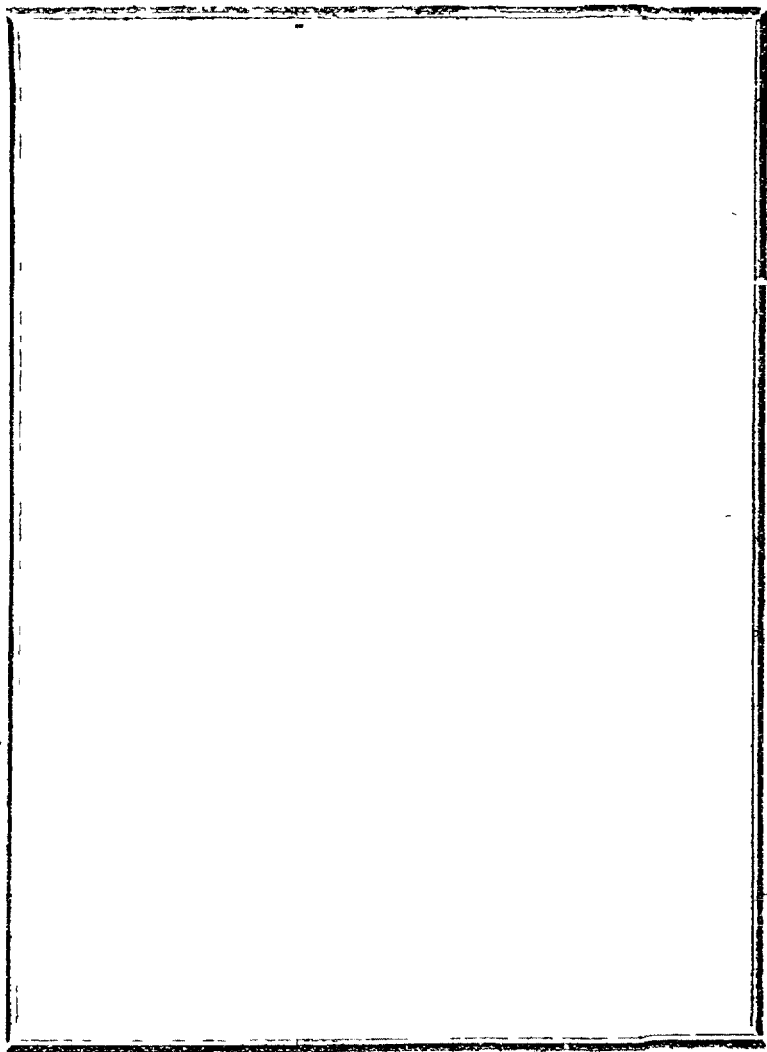
歷觀古今來立一事業之人皆抱百折不回之概。把持牢。立志確。勇往直前。一切不問世間毀譽褒貶。亦且不以一敗挫其銳氣。然後所期望之事始成。是豈尋常發憤所能屈耶。故凡百術藝。以至人之爲聖爲賢。其成否全存于本身。更不干別人事。所謂豪

傑之士雖無文王猶興者乃是也頃
者友人中郎敬字出所譯述自助論
屬予序受而讀之編中歷舉西國辛
苦立一事業之俊傑予抵掌曰彼邦
亦有此說乎至裏之成書則妙士大
夫立身骨子實在_ニ此處此處捉住不
失後來所植立必有卓然可見者自
助之爲言殊與子與氏不動心之旨

助
用論ノ老首
ニ題シテ予老
笑其能為ト
云フ山室ニ以書
大罪人ト云ハ
カル者付シヤ

合。鼓。舞。年。少。人。孰。如。此。敬。字。著。眼。極。
好。予。老。矣。莫。能。爲。所。望。尤。在。後。生。也。
感。慨。之。餘。遂。題。簡。端。庚。午。秋。仲。下。浣。

沙蟲翁古賀增題



自助論第一編序

余譯是書。客有過而問者曰。子何不

譯兵書。余曰。子謂兵強則國賴以治

安乎。且謂西國之強由于兵乎。是大

不然。夫西國之強由于人民篤信天

道。由于人民有自主之權。由于政寬

法。公拿破崙論戰曰。德行之力十倍

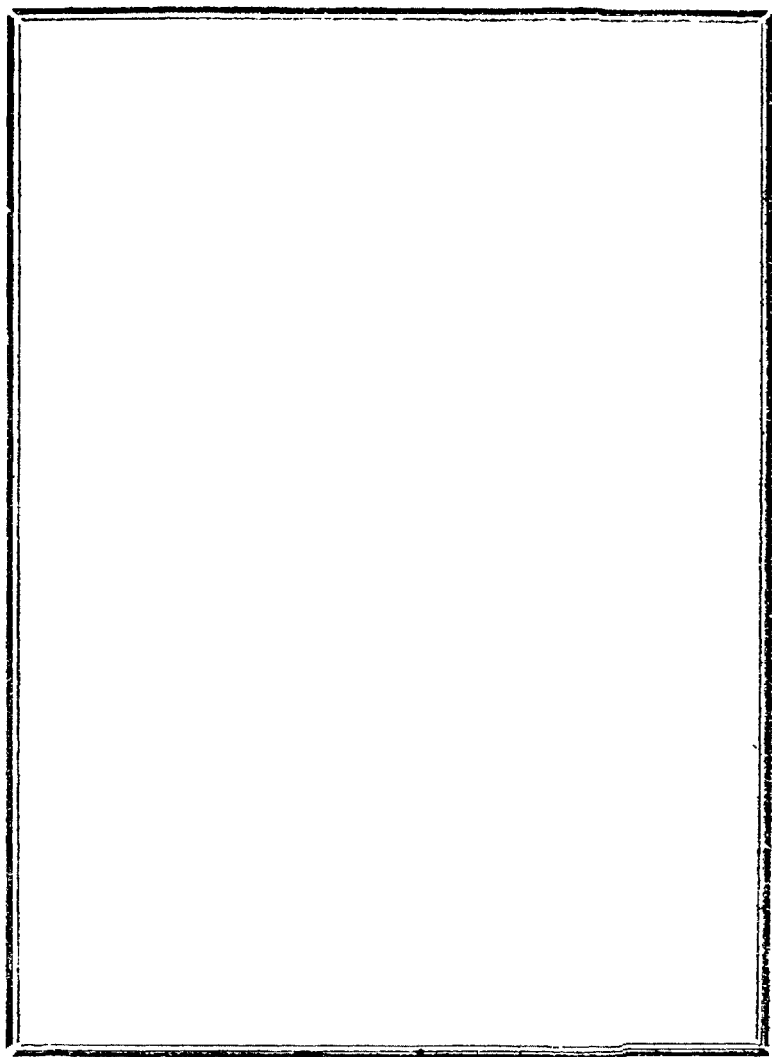
于身體之力。斯邁爾斯曰。國之強弱

關^カ于^ニ人民之品行。又曰。眞實良善爲^ニ品行之本。蓋國者。人衆相合^ヒ之稱。故人々品行正則風俗美。風俗美則一國協和。合成^{フテ}一體。強何足言。若國人品行未正。風俗未美。而徒汲^ト乎兵事之是講。其不陷而爲^ル好鬪嗜殺之俗者。幾希。尙何治安之可望哉。且由天理而論。則欲強之一念。大悖於正。

矣。何者。強者對弱之稱也。天生斯民。
欲人々同受安樂。同修道德。同崇知
識。同勉藝業。豈欲此強而彼弱。此優
而彼劣哉。故地球萬國。當以學問文
藝相交。利用厚生之道。互相資益。彼
此安康。共受福祉。如此則何有乎較
強弱競優劣哉。夫人知天命之可畏。
以眞實之心。行良善之事。一人如此。

一家如此。一國如此。天下如此。愛日
仁風。四海合驩。慈雲和氣。六合呈祥。
如此。則亦何有乎甲兵銃砲之用哉。
古不云乎。兵者凶器。戰者危事也。仁
者無敵。善戰者服。上刑一人之命重
於全地球。匹夫之善行。有關係於邦
國天下者。乃以貪土地之故。使至貴
至重之人命。橫罹極慘極毒之禍。其

違皇天之意。負造化之恩。罪不可追
矣。西國近時大省刑罰。然猶未能全
戢干戈。豈其教化有未洽者耶。抑宇
宙泰運之期未至耶。嗚呼。六合之際。
禮教盛而兵刑廢。當有日也。恨余與
子未及見之也已。客唯々而退。遂書
以弁卷首。歲次上章敦艸孟夏上浣。
中村正直識。

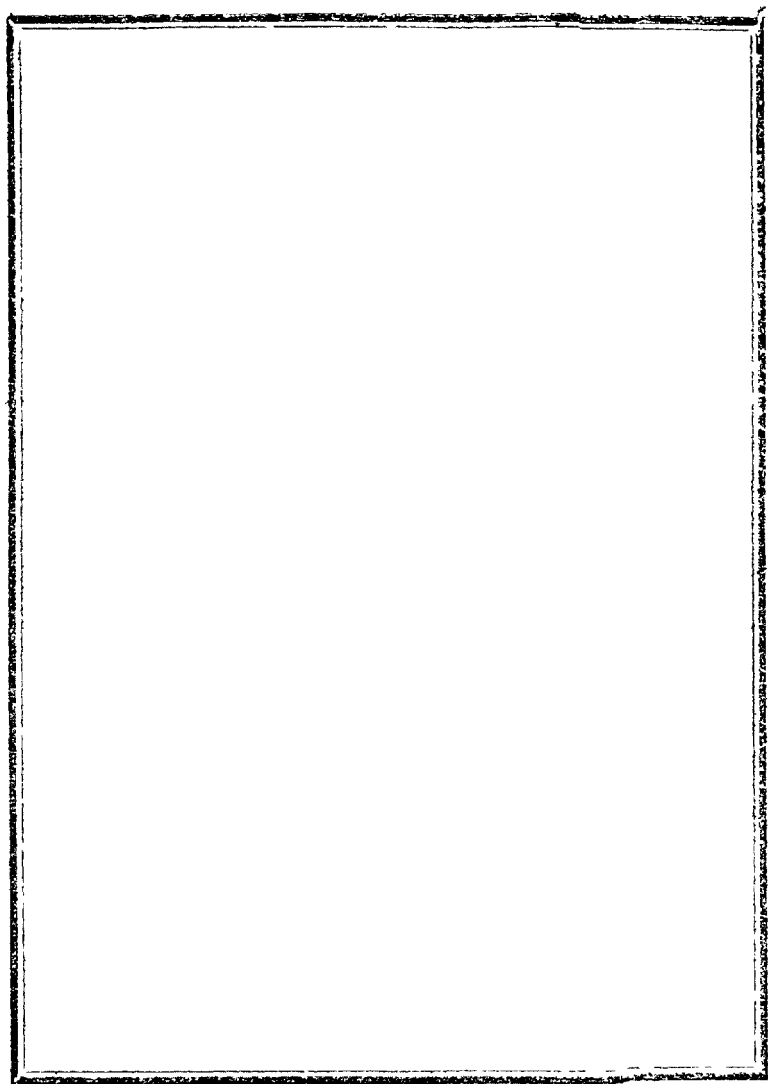


天地のはしめ潮の沫の凝りて成る國多なりけむを荒潮の八揀路たちへたて遠き
 境のこといしも古き御史どもおもふるされすそのくに／＼の人らまゐ來しとも聞え
 す大なる唐土天竺わたりと遠きかきりとしその餘あるをはなへて陸奥の蝦夷の千島
 のひとしきまふかん思へりけりそも／＼西洋人の

御國に渡りこしとは今より三百年餘むかしを初めあるへきをいくはともかくと
 められひとり阿蘭陀の國人のみ肥の國れたはどりに來りて物易ふるわさをはゆる
 されにたりされどとふ人とも多からすまいてあたし國の有さまきと聞も傳へさ
 りしをその天の下にありとある國のとともかつ／＼も物にまゐる傳へられし新
 井君美のぬしなん始めありける其後くさ／＼の書どもやう／＼數をひまたれと大
 たの世の人は心どむへきものとしも思ひたらずおむあまたのとしをはへにけるか
 て近き十年あまうこのた外國人多くまうてき御國人はたかきたにも往るふ道ひら

けいより今はるけき異國ふりもよろつおほろけぢらす成さつる物のら猶えみしと
たまいへはひふるお大い小をのね強は弱を去のきて獸のくひあふるときものどの
とおもへる人しもそ多めめるこゝお中村大人のものせられし自助論といへる書を見
るに何某の大人のいひけむ今れえとしい古へのえみしあふすとの言の葉も去るく
けお其説すへて和漢のかしこき人にもおどらすわはれあたと國人おもかはかり誠
實ある心のあれは有けるよと打かけかるゝまでめつらしどもめつらしきふみとあん
有けるいでや此書世に行はれてこを讀みむ人ゝ其道ゝにつきておののしゝ健く雄く
しき志とたて事にあたりてたゆまずくつはれす萬の事業一つの真心もてあゝおほす
へき日本魂ふるひおこさむたよりどもありあまゝかは大人のいたつきむあしゝす
いみしき世のをしへくさどもありあまゝしおほよそ天地の間に人どあらんかきりたど
ひ國をへたて境とことに一打見るすめたうち聞く詞はさまゝありどもひとしくみ

お産靈ムスヒの神の御靈ミタマよりて生れつるものにしあきはあのかつから直く正ただき眞の道は
 一すぢあふて有へーやはそを思はてわさくーの心せはくあふぬ小みちみ迷ひあんの
 わちさあさわさありあしされは掛まくもかしこき天津神の大御こゝろのまに／＼天
 の壁立カベタツのきり谷壘タニウのさわさる極キハと天の下四方の國人睦ムツと親しみ船腹乾さす柁ナチササ概干さ
 す渡りまうてきつゝ物多モノオホふ満ち足ふいせる大御國もいよくまそ／＼榮え行あんも
 のそとおの心と思ふとを大人あきこえしのはさらはそのよしいかさまにも書える
 して此書のはしに添へよといはるゝかいなまかゝくて拙さとの葉くた／＼しくかい
 つけたるあむむ時ハ明治三とせといふとしの長月はあり三田葆光



自助論第一板序

斯遇爾斯
自序

コノ書ヲ著ハス所以ノ原由ハ、何如ニトイフニ、去ヌル十五
年前ノ事ナリ。北方ノ村落ニ於テ、有志ノ者、數輩相會ヒ、夜
中講談ヲ聴カントテ、我ヲ招キ請シテアリ、ソノ詳ハ、次ニ叙
スルガ如シ。○極メテ卑賤ナル少年二三人、或年ノ冬ノ夜、相
會シ、互ヒニソノ知ルトコロヲ語り合ヒ、學問ヲ交易シテ、智
識ヲ開キ、進益ヲ得バヤト思ヒ立タリ、始メテ會合セシ場所
ハ、ソノ結ビシ社中ノ一人ノ貧シキ住家ナリシガ、幾程セナ
ク、其外ニ又同志ノ者加ハリ、ソノ場所忽チ席ヲ入ル、ニ足
スヲトナリタリ、既ニシテ、夏日炎暑ノ天トナリシカバ、同社
ノ朋輩、コノ家ノ外ナル廣庭ニ集マリ、ソノ朋輩ハ、園中ニア

ル小亭ヲ園^{カゴ}ミ、露ニ暴^{オラ}サレテ、坐ヲ占メ教師トナレルモノハ、

ソノ小亭ニ在リテ、算題ナドヲ出シテ、夜中ノ敷味ヲ投ケタ

リ、天色清朗ナル夜ハ、更^{一ナ}深ルマデ、カクシテ業ヲ勤メシガ、或^ア

時ハ、一陣ノ驟^{シツ}雨^ウ俄^{ニハカア}カニ降り澁^シキ、石版ニ書シタル數目ヲ洗

ヒ去リ、已^{ヤム}ヲ得ズ、其夜ハ、散會シテ、各不興^{オウ}ニ思ヒシ^{オウ}フヒ間^マア

リケリ、冬天ノ時候近ヅキ來^キタレバ、イカニシテ庭中ニ寒夜

ヲ過スベキ、且、朋輩次第ニ増^フテ、尋常ノ民家ニテハ、其人數ヲ

容^{イル}ル能ハザレハ、何^{イハ}ニモコレヲ凡^ヒ蔭^{イン}スル居所ヲ求メザルベ

カラザル^フトナレリ、コノ朋輩、孰^{ナニ}レモ貧^ヒニキ少年ニシテ、一

週七日ニ、甚^スハク些^ス少ナル工錢ヲ得ル^フトレハ、一屋ヲ賃^チシ

借ラント思ヒ立^コテ、此^コニ彼^{カノ}ヨト、尋^タテタレハ、遂^スニ一ノ汚穢^{ケリイ}ナ

ル大屋ヲ看出シタリ、コノ大屋ハ、コレラ〔霍亂〕流行セシ時、コ
 レヲ病院ニ用ヒシモノナレバ、ナホ瘟疫^{クエキ}シノ中ニ藏^{コモ}レリト
 思ヒ、人々コレヲ嫌ヒ避^グルモノカラ、コノ地ノ主^ヌモ、誰ヤラ、
 知^レベカラズ、然レヒ、コノ朋輩ノ少年、コレ等ヲ恐レズ、相議^ヒシ、
 一週七日ニ幾^{イク}程^{ホト}トイヘル貨^{ナン}錢ニテ、コノ大屋ヲ借^カリ、椅^イ子^ス及
 ビ書机^{ツクエ}ヲ安置^{オキナラベ}シ、冬課^{ナイコ}ヲ始メシガ、コノ場所、忽^ニナ夜學^{ヤシヤク}紛繁^ニ
 シテ、而モ快樂ナル景^{ケシキ}象ヲ顯ハスコトナル、コノ數課ハ、甚ハ
 ダ粗陋ニシテ完全ナラザレバ、堅^カ志^シ定^カ力^カナ以テ爲^ナタリ、サレ
 バ、朋輩中、少^スシ知^ル者ハ、己^{オンレ}ヨリ知^ラサルモノヲ教^シヘ、自^ミカラ
 修^メ善^グスル間^{アヒダ}ニ、他人ヲ修^メ善^グシ、總^{スベ}テソノ爲ストコロノ事、
 一箇ノ勉作スル儀範ヲ立^ツタリ、カクセテ、コノ少年相互^{ヒタヒ}ヒコ、

讀書作文、算術地學ヲ、或ハ教ヘ、或ハ學ビ、中ハハ、歐理化學、及
ビ諸國ノ言語ヲ教學スルニ至レリ、
同志ノ少年、大約百人ニ滿シカハ、ソノ志願、益大イニナリ、教
師ヲ招キ、講談ヲ聽ント企ダツル、折シモ、我（斯邁爾斯）コノ事
ヲ聞^ク、與^テカレリ、同志者中ノ人、我家ニ來リ、我ガ講説ヲ爲^シテ、
彼等ニ與^テヘン^テヲ請ヒ、今マデ爲^シテ、コノ後爲^シント欲スル
トドモサ、備^テサニ述ル、ソノ言辭、極^メテ謙遜ナリ、ヒメテ我ニ
叙引ノ小話ニテモ、説キ給ヘガハトイフコト、我モ彼等ニ自
助^スクル精神アルニ感動セラレ、竊カー思フニハ、通俗ノ言語
ヲ以テ、講説スル^ハ、我ノ所長ニ非ズ、サレド些^シ少^クノ言語ニ
テモ、勤勉ノ意、忠直ノ意、眞實ノ意ヨリ發シテ、講説ヲ與^テヘナ

バ、後來ニ至リ、或ハ、コレヨリ善業ヲ結ブヲモ、アルベケレバ、
 未ダ必^ズシモ裨益ナクハアラズト、因テソノ請ヲ許セリ、我コ
 ノ精神ヲ以テ屢^{シハートシカ}自ラ成就シタリシ諸人ノ遺範ヲ講説モ、人
 各、大小ニ限ラズ、自己ニ賴^{ヨリ}テ、萬事ヲ倣^{オス}ヘキヲ語リ聞^キセ、及
 ビ後來ノ福祉安寧ヲ望マバ、各自一箇ノ人、タゞ自己ニミ
 依頼スベシ、詳カニコレヲ言ヘバ、自己ノ勤勉ナル、自修ノ力、
 及ビ自己ノ定ムル規法、及ビ自^{オンカ}ラ檢束スル行事ニ依頼スベ
 シ、就中^{オホシ}ソノ最要ナルモノハ、人タルモノ、各ソノ職分ヲ盡ス
 ニ、正直誠實ナルベシ、コレ實ニ男子品行ノ尊榮ナルモノト
 リト、コレ等ノ事ヲ諸人ノ例ヲ引^{ケン}テ、指示シタリキ、
 コノ教訓ハ、所^ノ羅門^シ古^ノヘ以^イ色列^{スレ}ノ箴言、^{バイフルノ中ノ}ト全
 賢王ノ名、^{プロバルブフ、}

ク同ジクシテ、少シモ新ラセキヲナク、又別ニ造リ出シクル
モノナシ、我が教誨、舊ニ仍ニ過ズト雖ヒ、甚ハダコノ少年ニ
悦ハレ、接受セラレタリ、サテコノ少年、各、堅志勉力ヲ以テ、ソ
ノ生涯ノ道路ヲ行キ、大人トナルニ及ビ、各種々ノ方向ニ進
ミシカバ、コノ輩、多クハ、有用ノ職事ニ任スル人トナリタリ、
コノ教訓ヲ爲シヨリ以來、數年ヲ經、ソノ事、忘レタルガ如ク
ナリシニ、或夜忽チ一人ノ客、鑄鐵場ノ工場ヨリ新ニ來ルモ
ノト覺シキモノ、訪ヒ來リ、我ニ語ツテ、某ハ今工人ヲ使ヒ、富
饒ナル人トナレリ、抑セ昔年、先生怨ミロ、我輩ヲ教誨シ王
シヲチ憶ヒ出シ、感恩ノ情ニ堪ズ、某生涯ノ路ヲ行キ、利運ヲ
得タルハ、實ニ先生ノ訓導ノ力ニ賴レリ、先生ノ吾輩ヲ勸勉

激勵シ玉ヒシ精神ニ負クマシ、常々志ずも、遂ニ利達ヲ致

シタリト言ハキ、聞シテノアリニキ、

自助論原序

此書ハ、既ニ英國并ニ他國ニ博ク行ル、モノヲ再校スルモ
ノナリ、亞米利加ニ數種ノ板アリテ印行シ、和蘭、法蘭西、日耳
曼、領墨ノ人、各ソノ邦語ヲ以テ譯セリ、コノ書ハ、前人ノ行狀
ヲ載タレバ、讀者必ズ前人ノ勞苦ヲ經、試驗ヲ積ミ、難事ニ耐
ヘテ、大業ヲ成就スルヲ觀テ、奮發ノ意ヲ生ズヘキナリ、
此書、既ニセルフヘルプ(自助)ト名ケテ、世ニ行タレハ、今マダ改
ルヲチ爲ズ、然レ一言ヲ述テ、讀者ノ誤解ヲ防サルヲ得ズ、何
如トナレハ、セシ、人々表題ニ由テ、セルフイシチフ(自私)スルノ
意ト混淆シ、自私シスルノ事ヲ讚美スル書ナリト思フキハ、
作者ノ意ト、正ニ相反スルヲナリ、蓋作者主トシテ、少年ノ

人ニ、自ラ勤テ當然ノ志業ヲ倣シ、勤勞ヲ惜マズ、辛苦ヲ厭ハ

ズ、淡薄ヲ以テ自奉シ、或ハ清廉ノ節ヲ守ルト譯スツヒニソノ志業ヲ成就

シ、自己ノ功勞ニ倚仗シテ、斯世ニ自立シ、偏ニ他人ノ扶助恩

顧ニ倚賴スベカラザルヲ勸ンガ爲ニ、コノ書ヲ作ルト雖

モ、然レモ亦文人、學士、工藝ノ人、新術新器ヲ發明スル人、教育

ヲ掌ル人、仁慈ノ事ヲ行フ人、傳道ノタメニ遠方ニ行旅スル

人、傳道ノ爲ニ身ヲ殺シテ仁ヲ爲人、此等ノ人ノ遺セル標準

典型ニ由テ觀ルトキハ、ソノ自助ルノ職分ヲ盡フノ中ニ、他

人ヲ助ルノ意ハ、自ラ包含スルヲ明ナリ、

或ハ難シテ、コノ書、自助ルノ力ニヨリテ益ヲ得タル人ノミ

チ多少舉テ、ソノ敗ヲ取タルモノニ及ハズト言モ、アリ、コ

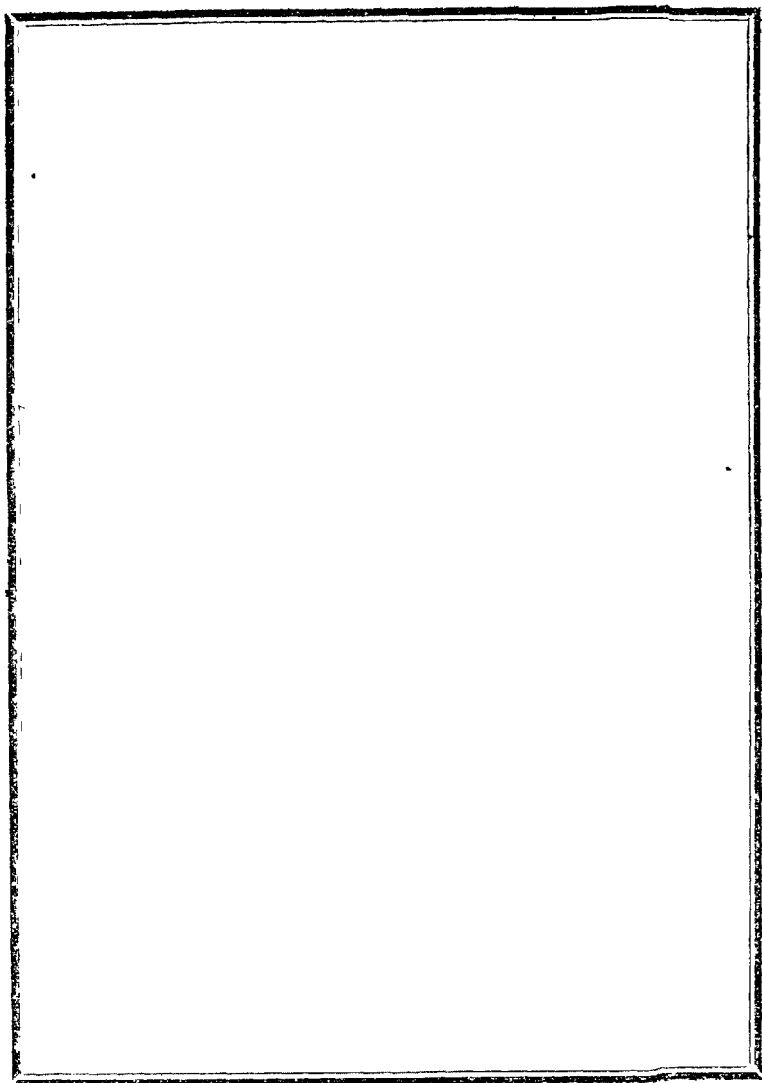
レニ對^ム曰^{ハク}、ダバ敗^レチ取^リタルノミノ事ハ、言^フニ足^ラズ、然^レモ次^ニ
 書卷ヲ讀^ムトキハ、失^ノ敗^ルハ事ハ、眞^ニ正^ニハ勉^メ強^ムスル人ハ爲^スニ、極^ニ善^ニ
 ハ教訓トナルヲ知^ルベシ、蓋^シ試^ミ爲^スノ事、幾^イ回^タトナク敗^ルレ
 バ、ソノ回^タゴトニ、益^ニ奮^ニ發^シテ、精^ニ力^ヲ自^ラ生^シ、自^己ヲ治^メテ、智^ニ識^ニ
 益^ニ長^ズルヲ得^ベキナリ、コレニ由^リテ觀^ルトキハ、失^ノ敗^ルノ事
 ハ、苟^モ能^ク堅^ニ忍^ニ耐^ニ久^クノ心ヲ以^テ、コレニ勝^チタラズニハ、利^ニ益^ニ
 トナリ、教訓トナル事ナリ、故^ニ我^ガクノ如^キ例^ヲ多ク舉^テ、
 コノ事ヲ明^ニニスルヲ務^ムタリ、
 人或^ヒハ功^ナクシテ敗^ルモノアリ、然^レモ善^ニ事^ヲ企^ムテ成^サル、モ
 ハハ善^ニ人^{タル}ヲ失^ハズ、故^ニ敗^ルト雖^モ一^モ貴^ブベシ、不善^ニ
 ノ事ヲ爲^シテ、一時或^ハ成就^{スル}トモ、ダバニ汚^ニ名^ヲ流^ススノミ、

故ニ人ノ事ヲ爲スハ、善惡如何ト問フヲ要ス、ソノ跡ノ成敗
ノミチ觀ルベカラズ、然トイヘーモ善事ヲ志シテ成就シタ
ラソハ、失敗シタルニハ、遙ニ勝ルベシ、凡事ノ成就スルハ、人
ノ定志アリ、勉力アリ、忍耐アリ、勇氣アルヲノ結慕效驗ナリ、
古人曰ク、

人ハ、成敗得失ヲ使令シ、己ノ意ニ從シムルノ權ナシ、然レ
モ勉強シテ已サレハ、天賞トシテ、成就ノ賜ヲ受ヘシ、

コノ書ヲ作ル主意ハ、約シテコレヲ言ハ、昔ヨリ言傳ノル善
教ヲ、少年ノ人ニ申戒セント企タルモノナリ、曰ク、少年ノ時、
勞苦セバ、暮年ハ安樂ヲ享ヘシ、曰ク、天下ノ事、勤勉學習セバ、
シテ能成就スルモノハ、決シテコレナシ、曰ク、學者爲シ難キ

ハ事ニ逢^フト雖^モ、^ヒハ志^ヲ折^クヘカ^ラズ、忍^ハ耐^ハ恒^ハ久^ハハ心^ヲ以^テ
 コレニ勝^ツヘシ、就^ス中^{トリヲ}最^ニ要^ニノ教^ニ曰^ク、人^ヲタ^ルモ^ノハ、ソ^ノ品^ヲ行^フ
 ナ高^ク尙^ニスベシ、然^ラザ^レハ才^ヲ能^クアリト雖^モ、^ヒ觀^ルニ足^ラズ、世^ニ
 間^ニ利^ヲ運^ブチ得^ルトモ貴^ブニ足^ルナシ、我^レコ^ノ等^ノ教^ヲ、世^ニ
 ノ少^シ年^ニ曉^{ント}志^シ、コ^ノ書^ヲ作^リ、モシコ^レニ由^テ、發^奮勉^ム
 強^クノ人^ヲ生^ジ來^ラザ^レハ、我^ガ著^ス書^ハ功^ヲ無^シテ敗^レタ^リト云^フヘ
 キ^ノミ、



論曰、國所以有自主之權者、由于人民有自主之權、人民所以有
 自主之權者、由于其有自主之志行、今夫三二十家之民相團、則
 曰村、數村相聯、則曰縣、數縣相會、則曰郡、數郡相合、則曰國、故如
 曰某村風俗純實、則某村人民之言行純實者爲之也、曰某縣多
 出貨物、則某縣人民之力農勤工者爲之也、曰某郡藝文蔚興、則
 某郡人民之嗜學講藝者爲之也、曰某國福祚昌盛、則某國人民
 之志行端良克合天心者爲之也、蓋總稱曰國、分言曰民、始無二
 致也、試揭輿地圖而觀之、自主之國幾何、半自主之國幾何、羈屬之
 國幾何、如印度古爲自主之國、今則盡統於英矣、安南古爲自主
 之國、今則半屬於法矣、如南洋中諸國、今莫不爲西國之屬者、人
 或祇謂西國有英主良輔、故勢威加遠方、殊不知西國之民勤勉

忍耐、有自主之志、行不受異君汚吏之制、故邦國景象、駁々日上、蓋有不期然而然者、且不獨此也、西國之君、大用其智、則其國大亂、小用其智、則其國小亂、載在史冊、歷々可徵、方今西國之君、不得以己意輒出一令、不得以己命輒囚繫一人、財賦之數、由民定之、軍國大事、非民人公計、不得舉行、蓋西國之君、譬則御者也、民人、譬則乘車者也、其當向何方而發、當由何路而進、固乘車者之意也、御者不過從其意施控御之術耳、故君主之權者、非其私有也、閱國民人之權、卒於其身者、是已、唯然、故君主之所令者、國人之所欲行也、君主之所禁者、國人之所不欲行也、君民一體、上下同情、朝野共好、公私無別、國之所以昌盛者、其不由此歟、余尙記童子時、聞清英交兵、英屢大捷、其國育女王曰、維多利亞、則驚

曰、眇乎島嶼、出女豪傑、乃爾堂々滿清、反無一箇是男兒耶、後觀
 海國圖志、有曰、英俗貪而悍、尙奢嗜酒、惟技藝靈巧、當時謂爲信
 然、及前年遊於英、都留一載、徐察其政俗、有以知其不然、今女王
 不過尋常老婦、舍飴弄孫耳、而百姓議會、權最重、諸侯議會、亞之
 其被掄於衆、爲民委官者、必學明行修之人也、有敬天愛人之心
 者也、有克己慎獨之工夫者也、多更世故、長於艱難之人也、而權
 詐猥薄之徒、不與焉、慢神欺心之人、不與焉、酒色貨利之徒、不與
 焉、喜功生事之人、不與焉、其俗則事上帝、尊禮拜、尙持經、好調
 濟貧病者、國中、所設仁善之規法、不遑殫述、姑舉其一、貧家子女
 所往學之學院、通計三萬有餘所、學徒二百萬人、晝間有職務者
 所往學之學院、名夜學院者、二千有餘所、學徒八萬人、凡此係民

人公同捐銀而設者、官府不與焉、凡百之事、官府之所爲、十居其

一、人民之所爲、十居其九、然而其所謂官府者、亦唯爲民人之利、

使而設之會所耳、如貪權勢、擅威刑之事、毋有也、抑以通國之廣、

人民之多、豈不無姦宄不法之徒乎、然審其大體、則稱曰政教風

俗、增美西方可也、而魏氏之書、徒稱其貪悍尙奢嗜酒、是蓋見西

國無賴之徒、居東洋者而概言之耳、何其謬哉、余又近讀西國古

今傳、傑之傳記、觀其皆有自立自立之志、有艱難辛苦之行、原於

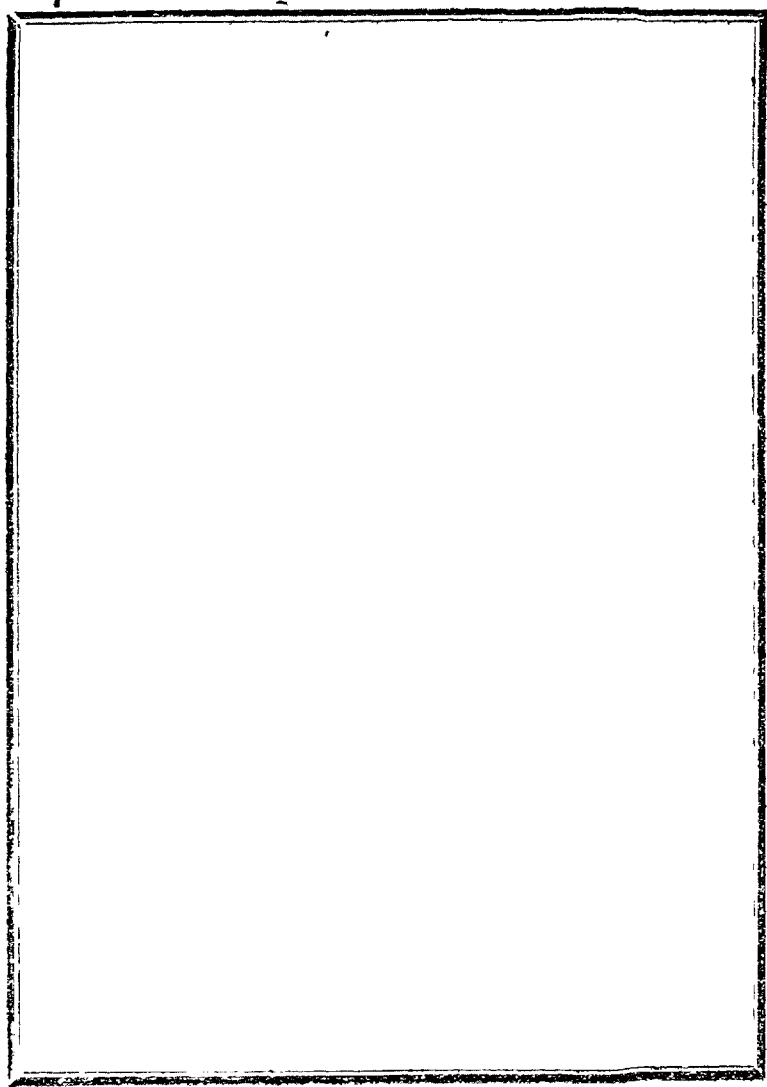
敬天愛人之誠意、以能立濟世利民之大業、益有以知彼土文教

昌明、名揚四海者、實由于其國人勤勉忍耐之力、而其君主不得

而與也、嘗聞、吾馬有駕車者、不加鞭策而自能行、不得控御而自

能馳、及御者妄引繮繩、多加撻責、而其馬扞格牴牾、頓致不能行、

嗚呼、坤輿之內、何國不善、何民不頁、由于御者之喜功滋事、而致
不遂其性、不能存其天良者、蓋亦多哉、



西國立志編目錄 原名自助論

第一編 邦國及人民ノ自助ミソカラクヲ論ズ(一) 自助ミソカラクルノ精神

(二) 人民ハ法度ノ本

(三) 國政ハ人民ノ光リノ返照ナリ

(四) 邦國ノ盛衰

(五) シーザリスムノ一派ト自助ノ説ト反對ナルヲ

論ズ

(六) 大巨ダイガン自立ノ事ヲ論ズ(七) 貴賤ニ限ラズ勉強忍耐ダイノ人世ニ功アル事(八) 英人自助ミンカラクルノ精神アル事

(九) 實事習驗ノ學問

(十) 言行録ノ人ニ益アル事

(十一) 大人豪傑ハ貴賤貧富ニ拘ハラザル事

(十二) 舌^{シエーク}克^ス斯^{ビーア}畢ノ事

(十三) 貧賤ヨリ出タル豪傑ノ人

(十四) 有名ナル天學者

(十五) シレヂーメン^{牧師ト譯ス}ノ子ヨリ名ヲ顯ハス人

(十六) アツトルチース^{狀師ノ等}シノ他卑賤ノ人ノ子ニ

テ名ヲ顯ハス人

(十七) 卑賤ヨリ起テ大名ヲ得タル外國人ノ事

(十八) 製煉家^{オニスト}卯格^{バウケリン}林ノ事

(十九)

法國ニ於テ歩卒ヨリ登用セラレシ人

(二十)

伯洛沙敦ノ事

(二十一)

福克斯、林德西ノ事

(二十二)

維廉。若克孫ノ事

(二十三)

力查。格伯田ノ事

(二十四)

勤勉ニ非レバ百事工妙ニ至ル能ハサル事

(二十五)

富貴ノ人マタ自助メ力ヲ要フ

(二十六)

富貴ニ生レテ征陳ノ苦ヲ甘ズル人

(二十七)

富貴ニ生レテ有名ノ學士トナレル人

(二十八)

名門右族ニ生レテ政學文章ニ長ズル人

附

羅伯。比爾

(二十九)

勞爾德ロウド伯爵ハロルド伯路塞ハロルドノ事

(三十)

律敦リットンノ事

(三十一)

侄士チス禮立レイリ失敗ニ遇フテ志氣シキヲ挫クサザル事

(三十二)

窩圖窩士ワトゥワースノ論并ニ多克トク未爾ゲイルノ事

(三十三)

多克トク未爾ゲイル他人ヨリ助ケヲ得タルヲ招認ワケトムルスル

事

(三十四)

人ハ自己ノ身ヲ以テ第一ノ帮手タスキトナスベシ

第二編

新機器ヲ發明創造スル人ヲ論ズ

(一)

英國ノ人民職事ニ勉強スル事

(二)

勞苦ノ工場ハ最善モトモト學校ト稱スベシ

(三)

休ヒッ彌爾ミール列爾レルノ論

(四)

貧困勞苦ハ踰越フヘカヲザル障礙ニアラザ

ル事

(五)

機器創造者ノ邦國ヲ利フル事

(六)

蒸氣機器ノ創造ノ事

(七)

惹迷士^{ヘイムス}瓦德^{ワット}ノ勤勉并ニ心思ヲ用ヒテ習慣ト

ナレル事

(八)

瓦德^{ワット}蒸氣機器ヲ作シ事

(九)

蒸氣機器百般ノ用トナル事

(十)

力查^{リチャード}阿克來^{アークライト}并ニ紡棉機^{モットー・スピニング・マシナ}

(十一)

比爾^{ヒール}并ニ印花機^{プリント・マシナ}白布^{ホワイト}ノ上ニ花^{フロー}草^{グ래스}模器^{パターン}

(十二)

維廉^{ウィリアム}李^{リー}并ニ織機^{タペストリー・マシナ}

(十三)

戎○喜斯可土并ニ織^ル線帶^{レイス}機^テ

(十四)

若瓜德并ニ織機

(十五)

亥爾滿并ニ梳^{スル}治衣料^テ機^{ノロヘルニ}

第三編

三陶工ノ傳

(一)

福楞察^{フロレンス}ノ人拉加^{ラカ}ソノ業ヲ勉^ムル事

(二)

培那德^{ペナルト}○巴律西^{バリニ}ノ事

(三)

薄查^{ボウチャ}ノ事

(四)

若社^{ニョウシャ}○空地^{ウツエ}烏德^{ウデ}ノ事

第四編

勤勉シテ必^ズテ用ヒ恒久ニ耐^{タカ}テ業ヲ作^スフヲ論^ル

(一)

大功業ハ平常ナル工夫ニ由^リテ得^ルラルベシ

(三)

福運ハ勤勉ノ人ニ隨フ并ニ英才ト説

(三)

牛董自ラ其學問ヲ爲ノ工夫ヲ語ル

(四)

人ノ天性甚ダ相遠カラズ

(五)

蜂巢ノ喻并ニ光陰ヲ黃金ニ化スルノ論

(六)

熟復ノ益并ニ比爾語記ヲ習シ事

(七)

小伎ト雖モ亦忍耐ノ工夫ヲ要ス

(八)

事業ヲ成スヲノ秘訣并ニ桑葉ノ喻

(九)

快樂ノ心一日モ無ルベカラザル事

(十)

望ハ品行ノ本并ニ加禮

(十二)

學士雍ノ格言并ニソノ故事

(十二)

舟度棒眞形ノ畫ヲ失シ事

(十三)

加來爾ノ故事

(十四)

士提反孫、瓦德久ニ耐テ倦ザリシ事

(十五)

羅林孫、禮亞德故跡ヲ搜尋セシ事

(十六)

浦豐晏起ノ習ヲ矯シ事

(十七)

斯格的文人ニシテ俗務ヲ蔑ゼザリシ事

(十八)

知識愈多ケレバ愈學問ノ足ザルヲ覺ユ

(十九)

潤伯律敦市ヲ閱シ書ヲ讀シ事

(二十)

老同農圃全書ヲ著セシ事

(二十一)

撒母耳○德留刁惡ノ性ヲ改テ著作家トナリシ

事

(二十二)

休模忍耐ノ力ヲ以テ政務ニ功勞アリシ事

第五編

幫助即機會ヲ論ズ及ビ學術ヲ勉修スルヲ論ズ

(一)

大功效ハ偶然撞着シテ得ルモノニ非ズ

(二)

大人ハ小事ヲ藐忽ニセザル事

(三)

牛董及ヒ雍ノ發明ハ偶然ト稱シガクシ

(四)

觀察ニ聰慧ナルヲ智者ト稱スベシ

(五)

加利列窩搖錘ヲ創造スル事

(六)

伯拉溫鐵懸橋ヲ造リ及伯路涅爾爹迷士河底

ノ地道ヲ造シ事

(七)

哥倫布海藻ノ浮ルヲ視テ新世界ノ近ヲ知ル

事

(八)

小事ノ力

(九)

富蘭克林及ビ噶喇法尼電氣ノ理ヲ查出セシ

事

(十)

吳士德蒸氣ノ力アルヲ悟シ事

(十一)

機會ヲ拿着シ機會ヲ造ル說

(十二)

有名ノ工人粗陋ナル器具ヲ用タリシ事

(十三)

李偶然ノ事ヨリ學ニ志セシ事

(十四)

斯東ノ名言

(十五)

斯格的何事ヲ爲ニモ機會ヲ看出セシ事

(十六)

普理斯的禮年四十始テ化學ニ志セシ事

(十七)

大未手ニ隨フ物ヲ器具トナシテ經驗ヲ做シ

事

(十八)

發^フ拉^ラ第^{ダイ}偶然^ニノ事^{コト}ヨリ化學^ニ志^セシ事

(十九)

大^ダ未^{ウイ}ノ記^キ簿^ボニ書^キ載^セタリシ語

(二十)

古^ク未^{ウイ}耶^エ偶^ニ然^ニノ事^{コト}ヨリ本草^ニ學^ニヲ勉^メシ事

(二十一)

瓦^ワ德^ト、士^ス提^テ反^{エン}孫^{ソン}、達^ダ爾^ル東^{トシ}、機^キ會^エヲ失^ハズシテ業^ニヲ勉^メ

シ事

(二十二)

零^{オチコソレ}碎^レノ光陰^ニ集^リテ極^ニ大^ニノ價^{アタヒ}値^ヒトナル事

(二十三)

名^ナ士^シ零^{オチコソレ}碎^レノ光陰^ニヲ集^メテ大業^ニヲ成^シタル何^ニヲ舉^ゲ

グ

(二十四)

光陰^ニノ貴^カブベキ事

(二十五)

古^コ人^ニ著^シ述^スノ業^ニニ勞^{ロウ}苦^クセシ事

(二十六) 筆錄及ヒ抄寫ノ益

(二十七) 潤。翰達鈔錄ヲ勤シ事及ビソノ他勉強ノ事

(二十八) 翰達物ノ定タル情形ヲ忽ニヒズシテコレヲ

熟察セシ事

(二十九) 巴禮ノ事

(三十) 厚倍血ノ運行ヲ發明セシ事

(三十一) 日納爾牛痘ヲ發明セシ事

(三十二) 白爾神經ノ理ヲ研究セシ事

(三十三) 荷爾神經病ノソノ根ヲ肢體ニリ發スルモノ

ヲ發明セシ事

(三十四) 黑爾舌新行星ヲ始テ看出シ事

(三十五)

維廉・斯密士 察地學ニ長ゼシ事

(三十六)

休・彌爾 列爾觀察ノ才アリシ事

第六編

藝業ヲ勉修スル人ヲ論ズ

(一)

天才アリト雖モ必ズ勉強ノ力ヲ要ス

(二)

藝ヲ好モノハ利ノ爲ニスルニ非ル事

(三)

安日・洛清廉 淡薄ニシテ彫像學ヲ勉シ事

(四)

秩襄 一畫ニ七八年ヲ費セシ事

(五)

少年ノ聲譽ハ恃ニ足ザル事

(六)

伴克斯 小童ヲ勸勵セシ事

(七)

古勞德・羅倫 萬象ヲ以テ師トナセシ事

(八)

篤兒・涅爾 薄值ノ畫ヲ輕ンゼザリシ事

(九)

百爾理爾替者ノ相ト爲テ羅馬ニ遊シ事

(十)

加洛ノ事

(十一)

尼格拉士保申ノ事

(十二)

潤弗拉吉士面ノ事

(十三)

維爾啓談話ヲ好ザリシ事

(十四)

書工馬爾珍大書ヲ作ル時屢ニ餓死ニ迫リシ

事

(十五)

惹迷斯沙不爾士鑄鐵工ニシテ書工雕工ヲ兼

シ事

(十六)

有名ノ樂師強勉ニシテ倦ザリシ事

第七編

貴爵ノ家ヲ創タル人ヲ論ズ



古者尊貴ノ族今ハ多ク平民ニ混ズル事

(二)

現存スル貴爵ノ家多ク商賈ヨリ起シ事

(三)

力査^{リチャーフ}福禮^{レイ}釘ヲ造ル^フノ秘ヲ探^ラント欲シ艱難

ヲ冒^{オカ}セシ事

(四)

維廉^{ウィルム}費布士^{フイッブス}沈船ノ貨財ヲ搜^{サグ}リ出セシ事

(五)

戦功ニ由テ貴爵ヲ得タル人

(六)

狀師等ヨリシテ貴爵ニ陞^{ノボ}リシ例

第八編

剛毅ヲ論ズ

(一)

人ノ品性ハ小事ノ中ニ著^{イチャシル}シ○鎚ヲ揮^フノ力

(二)

剛毅ノ心志

(三)

人夙^{ソト}ニ事業ニ志ヲ立^ツベシ

(四)

一時一事

(五)

勇猛ノ工夫

(六)

必志ノ力附ムリスノ大將

(七)

志願スルトコロノモノハ必ず得ヘシ

(八)

志意ハ自己ニテ主張スベシ

(九)

拉面奈ノ書

(十)

勃古斯敦子チ戒ムル書

(十一)

必志アレハ必ず便宜アリ

(十二)

拿破崙ノ好デ誦スル格言

(十三)

空林登職分ノ字チ常ニ必ニ存スル事

(十四)

果決神速ノ貴ヘキ事

十五

拿破崙^{ナポレオン}瞬息ノ機ヲ窺^カヒ敗ヲ轉シテ功ト爲セ

十六

ハリス^{ハリス}士七歳ノ時田産ヲ恢復セント志セシ

事

十七

那比爾^{ナビル}印度ニ於テ奇勳ヲ策スル事

十八

那比爾^{ナビル}三軍ニ信服セラレシ事

十九

那比爾^{ナビル}印度ノチエックラーヲ試シ事
テソマソカヒ

二十

印度^{インド}叛亂ノ事并ニ英人節ニ死スル事

二十一

雜未耶^{サウイ}東洋ニ航スル事

二十二

戎^{ニコン}維廉士^{ウィルムス}蠻民ニ殺レシ事

二十三

律賓斯^{リウイングス}敦亞弗利加ニ至シ事

(二十四)

戎^ゴ○厚^コ亞^ハ德^ト獄制ヲ改革セシ事

(二十五)

若^ニ那^ナ士^ス○翰^ハ回^ウ善法ヲ創^シメ邦人ヲ惠^ミシ事

(二十六)

額^ニ蘭^{ラン}未^ウ爾^{イル}○沙^シ伯^{ハク}黑奴賣買ノヲ禁^ム止^スセシ事

(二十七)

勃^{ハク}古^コ斯^ス敦^{トン}ノ讀書法并ニソノ名言

第九編

職事ヲ務ムル人ヲ論ズ

(一)

事務ノ境界狹小ナラズ

(二)

職業ノ貴賤ハ人品ノ高下ニ關カラズ

(三)

職事ヲ務メ兼テ文學ニ名ヲ得タル人ヲ擧グ

(四)

現今生存スル人ノ例ヲ擧グ

(五)

三物ノ論并ニ勞苦快樂

(六)

墨爾^{メル}畔^{パン}ノ書

(七)

瑣小ノ本錢

(八)

工匠ノ美談

(九)

勞苦ナケレバ希望ナシ

(十)

事ノ失敗必ズソノ由アリ

(十一)

妄ニ不幸ト稱スル世人ノ愚昧并ニ潤孫ノ名

言

(十二)

意爾平ノ説

(十三)

五箇ノ性能并ニ小事ノ忽セニスベカラサル

事

(十四)

精細ノ切要ナル事

(十五)

福格斯瑣事ト雖モ精細ニ心ヲ用シ事

(十六) 順便ノ方法

(十七) 法國一相臣ノ話

(十八) 懶惰ナル郷紳ノ話

(十九) ス格的敏速ノ益ヲ論ズル書

(二十) 光陰ハ産業ナリ

(二十一) 四半時ノ光陰

(二十二) 定期ヲ怠^{アヘマテ}サルノ徳

(二十三) 事務ヲ^{トリアノカン}辦理スル人ニ非レハ三軍ノ將トナリ

ガタシ

(二十四) ナ破^レ崙^ン軍中ニ在リ細務ヲ^{リアノカン}辦理セシ事

(二十五) ナ破^レ崙^ンノ文書

(三十六)

空林ウツリノ登トシ詳密ニ事務ヲ辦理セシ事

(三十七)

空林ウツリノ登トシ正直ニシテ借財ヲ懼レシ事

(三十八)

端正信實ノ貴ブベキ事

(三十九)

商賈ノ端正信實ナルベキ事

(四十)

正經ナシスナナラザルノ利ハ受用スルヲ能ハズ

(三十一)

品行ハ一種ノ財寶ナリ

(三十二)

大闢テ罷ビト充ク禮レイノ事

第十編

金錢ノ當然ノ用及ソノ妄用ヲ論ズ

(一)

金錢ヲ用ルハ當然ノ道ニ從フベキ事

(二)

自ラ私欲ニ克カテ儉約ヲ守ルベキ事

(三)

格伯田コフデン二種ノ人アルノ論

(四) 工人儉節ヲ勉メ品行ヲ高スベキ事

工人儉節ヲ勉メ品行ヲ高メベキ事

(五) 三箇偶然ノ事

三箇偶然ノ事

節儉ハ家事ヲ治ル精神

節儉ハ家事ヲ治ル精神

(七) 節儉ハ保護ノ用

節儉ハ保護ノ用

節儉、端正、老實、本質

節儉、端正、老實、本質

(九) 小利ヲ競フハ小費ヲ除クニシカズ○儉約ニ

小利ヲ競フハ小費ヲ除クニシカズ○儉約ニ

シテ仁惠ヲ行フベキ事

(十) 金ヲ借_ルフノ危_キ事

金ヲ借_ルフノ危_キ事

(十一)
乞^{モウ}林^{リン}登^{トウ}話^ワ聖^{セイ}東^{トウ}借^{シヤク}債^{シヤク}ヲ懼^{コソ}レシ事

空林登話聖東借債ヲ懼レシ事

熱非斯ジェーケーイス早年貧苦ト戰ヒシ事

熱非斯ジェーケース早年貧苦ト戰ヒシ事

(十三) 時俗體面ヲ飾ルノ弊

時俗體面ヲ飾ルノ弊

(十四)

那比爾軍官ノ負債ヲ戒ムル事
カケチオン

(十五)

誘惑ニ抵抗スベキ事

(十六)

休○彌爾列爾酒ヲ止ル事
ヒツミル

(十七)

高處ニ眼ヲ着ケ惡習ヲ改ベキ事

(十八)

富ヲ致スノ諺語

(十九)

高尙ナル志望ヲ以テ勤儉ヲ行フベシ

(二十)

來ライ的ト日工ヒヨウトリヲ作ナシテ罪人ヲ惠シ事

(二十一)

正經マシマシノ職業ハ卑賤ト雖モ羞愧スベカラザル事

(二十二)

守錢虜ノ賤ムベキ事

(二十三)

儉客ノ辨

(二十四)

富人ニ德行ノ價アラザル事

(二十五) 貧^シニシテ身ヲ亡^ナスノ喻

(二十六) 人ノ事業ハ貧富ニ拘^カラザル事 并^ナ伯洛沙敦

(二十七) 眞正ノ體面^{ビトカラ}

(二十八) 眞正ノ貴重セラル、人

第十一編 自^{ミナ}ラ修^ルノ事ヲ論ズ并ニ難易ヲ論ズ

(一) 自^{ミナ}ラ教育スベキ事

(二) 亞^ア璠^ン爾^ニ德^トノ説

(三) 身體ヲ勞動スルノ益

(四) 若^シ列^レ迷^イ。麥^ア洛^イ爾^ロ勞動ノ益ヲ論ズ

(五) 工事勞作ノ益

(六) 身體ノ強壯ハ歳事トス

(七)

有名ノ學士文人少時努力ノ遊戯ヲ做シ例

(八)

勞苦ハ百事ニ勝ツ

(九)

方向ヲ善シテ學業ヲ勉強スヘキ事

(十)

容易ハ困難ヨリ生ズ

(十一)

精密ノ工夫及ビ透徹ノ理會

(十二)

目的ヲ立定テ書ヲ讀ベキ事

(十三)

自己ヲ信ズルヲハ真正ノ謙退ト同一ナル事

(十四)

勞苦ヲ經ザル學問ノ益ナキ事

(十五)

勞苦ニ慣レベシ安息ヲ求ベカラズ

(十六)

學問ハ善養ノ心端正ノ行ト一體トナルベキ

事

(十七)

學問ト智識トノ大^{チカヒ}庭アル事

(十八)

讀書ノミヲ學問ト思^フベカラザル事

(十九)

我^レナルモノ有^ラザルベカラズ爲^ストコロ有^ルザル

ベカラズ

(二十)

自^{ミツカ}ラ恭敬スベキ事

(二十一)

必^ヒ答^ダ臥^ボ拉^ラ斯^スノ法語及ビ彌^ミ爾^ニ致^シノ説

(二十二)

自^{ミノカラムル}修^{シユ}ノ事ハ地位ニ關^{アヒカラ}ザル事

(二十三)

卑下ナル自脩ノ説

(二十四)

稗官小説ノ害

(二十五)

少年ノ人歡樂ニ耽^{フレル}ベカラサル事

(二十六)

公^コ斯^ス當^{ダン}の弱志薄行ノ事

(三十七)

韃爾理目盲シ身病ト雖ヒ學ヲ勉メ事

(二十八)

尼格爾ノ其母ニ贈ル書

(二十九)

艱難ハ最善ノ教師

(三十)

智識ハ失敗ヨリ學ブ

(三十一)

名將屢々敗績スルニ由テ益兵法ニ進シ事

(三十二)

貧苦禍難ハ人ノ善師

(三十三)

艱難ノ學校

(三十四)

辯論家格禮及ビ加蘭ノ事

(三十五)

貧苦ニ耐テ學習ヲ勉シ人馬來模爾章罷士

(三十六)

維廉格白的ノ事

(三十七)

法人ノ英國ニ住スルモノ石匠ヨリ學師トナ

リシ事

(三十八)

學帥李ノ事

(三十九)

有名ノ人晩年ヨリ學問セシ例ヲ舉グ

(四十)

少時ノ敏鈍ヲ以テ將來ヲ料リ難シ

(四十二)

大人豪傑幼時愚鈍ナリシ例ヲ舉グ

(四十二)

亞^ア瑤^ラ爾^ド他^ド童子ノ優劣アルヲ論ズ

(四十三)

父母ノ子ノ夙達ヲ望ムベカラザル事

第十二編

儀範

又曰
典型ヲ論ズ

(一)

家裡ノ教化最モ緊要ナル事并ニ
家國同一ナ

ル事

(二)

父母ノ儀範

(三)

物^{モノ}斯^ス的^テ、勃^{ハツ}古^コ斯^ス敦^{トン}等^トノ母^{ハハ}ニ感^{カン}化^カセラレシ事^{コト}

(四)

人^{ヒト}ノ言^{コト}行^{ユク}必^{カナラ}ズ將^{マシ}來^キニ相^ア關^カル事^{コト}

(五)

人^{ヒト}ノ言^{コト}行^{ユク}永^{トキ}ク死^シセザル事^{コト}

(六)

拔^ヘ倍^ゲ籍^{セキ}言^{コト}行^{ユク}不^レ死^セノ論^{ロン}文^{モン}

(七)

極^メテ卑^ヒ賤^{セン}ナル人^{ヒト}ノ言^{コト}行^{ユク}マタ風^{フウ}俗^{ソク}ニ關^カ係^{ケイ}フ

(八)

實^{ジツ}行^{ユク}ノ人^{ヒト}ヲ化^カスルコト空^{カラ}言^{コト}ノ比^ヒスベキニ非^ズズ

(九)

邦^{ハツ}治^チ鞋^セヲ補^ホヒ家^カ業^{ギョウ}ヲ倣^ナナガラニ修^{シュ}金^{キン}ナキ貧^{ヒン}

兒^コヲ教^シシ事^{コト}

(十)

朋^{トモ}友^{トモ}ノ擇^セベキ事^{コト}

(十一)

觀^{カン}感^{カン}ノ益^{エキ}

(十二)

畫^エ家^カ樂^{ラク}工^{コウ}己^{オシレ}ニ優^{マサレ}ルモノヲ慕^{ホシメ}フ事^{コト}

(十三)

勇將ノ表樣怯夫ヲ激發スル事
テカシ

(十四)

言行錄ヲ讀ムヨリシテ威發奮興セシ人ノ例

(十五)

富蘭克林、徳留、達徳禮

(十六)

亞爾費立、雷闕拉、路惕、烏爾弗、加禮

(十七)

花納爾進脩ノ益ヲ得タリシ書ヲ評論ス
オアチル

(十八)

樂只君子ノ儀表

(十九)

學士亞璫爾徳ノ徳行、他人ヲ感化セシ事
アルノールド

(二十)

潤。辛克禮ノ事
レヨシク

第十三編

品

行ヲ論ズ、即眞正ノ君子ヲ論ス
チトル
レセントル
ズン

(一)

品行ハ人ノ有ル最貴ナル物
モテ

(二)

加寧、拉設爾ノ嘉言、花納爾ノ善行
カンニシラセル
ナアチル

三

富蘭克林、孟典ノ品行信實ナリ、事

四

品行ハ勢力ナリ

五

勞爾德、亞斯金ノ行規

六

人皆品行ヲ修善スルヲ目的ト爲ヘシ

七

美名ノ價

八

信實ハ品行ノ骨子

九

言行一致内外間ナカルベキ事○沙伯ノ好

格言

十

眞實ノ品行

十一

習慣ハ第二ノ天性

十二

習慣ハ始ヲ慎ムベシ

(十三)

人ハ幼年ヨリ善^キ習慣ニ長セシムヘキ事

(十四)

福祥ハ習慣ニ由^リテ得ラルヘシ

(十五)

他人ヲ待スルニ温和ニシテ禮アルベキ事

(十六)

一顧盼ニテモ慈愛ノ情他人ニ通ズル事

(十七)

中心ノ忠愛、外貌ノ禮儀

(十八)

容貌辭氣ノ修^メ善^クスヘキ事

(十九)

他人ノ異論ヲ容忍スヘキ事○慥^モ慥^モノ喻

(二十)

眞實ノ心腸

(二十一)

哥^ノ蘭^ノ的^ト兄弟家ヲ與セシ事

(二十二)

哥^ノ蘭^ノ的^ト兄弟舊怨ヲ念ズシテ恩惠ヲ施セシ事

(二十三)

シエントルメン(君子)ノ義

三十四

シエントルメン〔君子〕ハ自ラ尊敬シ他人ヲ尊敬ス

(二十五)

眞正ノシエントルメン〔君子〕賄賂ヲ受ザル事○空^{ウエ}

林^{リン}登^ト十萬金^{ボント}我邦ノ三十ノ賄賂ヲ却ケシ事

(二十六)

乞^{ウエ}勒^レ斯力^ス十萬金^{ガント}ノ贈遺ヲ受ザリシ事

(二十七)

那^ナ比^ビ爾^ー印^ン度^ダニ在^ニテソノ諸王ヨリ一切贈遺ヲ

受^レサリシ事

(二十八)

身外ノ富貴ハ眞正君子ノ徳ト相聞^ヒカラズ

(二十九)

至賤ノ人往々眞正君子ノ精神アル事

(三十)

舟子ノ己^レガ性命ヲ輕^シシ他人ヲ救^ヒシ事

(三十一)

澳^オ士^ス地^ト利^リノ帝^フ弗^{ラン}蘭^ン西^ス斯^ス貧民コレヲ霍^ハニテ死

セシモノ、葬ヲ送^リシ事

(三十二)

英國ノ工人巴理^{バリス}ニ在テ送ル人ナキ棺車ヲ送

リシ事

(三十三)

君子ノ行ハ信實ヲ以テ第一ト爲^スヘキ事

(三十四)

剛勇ノ人ハ柔軟ノ心寛恕ノ行アル事

(三十五)

英雄俠烈ノ行今世ニ至リ益盛ナル事

(三十六)

兵卒ノ溫柔ナル事

(三十七)

英國ノ船亞弗利加^{アフリカ}ノ海岸ニテ沈ミシ時船中

ノ人從容和靜ナリシ事

(三十八)

君子ハ己^{オレ}ヨリ弱キモノヲ凌虐セズ

(三十九)

君子ハ人ニ恩惠ヲ施^スドモ徳色ナシ

(四十)

君子ハ己ヲ棄テ人ニ讓ル事

四十二

德勒克ノ品行

通計三百二十四章

西國立志編目錄終

